

金融仲介機能のベンチマーク（定義、評価基準と着眼点）		（稚内信用金庫：2017.02.07）	
<p>（はじめに） 信用金庫法第1条に定める「目的」が意味する金融仲介機能は、単なる資金仲介や金融サービスの提供のみにとどまることがなく、地域と地域を繋ぐ役割、事業と事業を繋ぐ役割、人と人の繋がりを広げる役割など、地域社会の広範な分野に關与する責任を担う社会基盤的存在であり続けることを求めている。 稚内信用金庫は昭和36年に制定された〈信条〉の下、地域社会の発展に寄与すべくお客さまとの信頼関係醸成に努めてきたが、それを可能にしうる最も重要な基礎的要件は、地域社会の一員たる役職員の資質向上と満足度向上にこそあると位置付け、あらためて金融仲介機能のベンチマークを以下に示す。</p>			
〈 信 条 〉		ベンチマーク（評価基準項目）	
理事長の着眼点			
前文	稚内信用金庫は地元と共に繁栄します	① 職場外の社会活動団体に参画している延べ役員数	地域へのコミットメントコストを可能な限り負担しているか
一、	勇気と矜りをもって限りなき進歩を、 そして発展を	② 主たる営業地区における預金と貸出金の市場占有率	地域の雇用機会提供と深い地域密着体制を維持できているか
一、	お客様には親切に、早く、正確に、 そして真の奉仕を	③ 役員総数の内、主たる営業地区内出身者の構成比	地域の将来を担う経営者の育成に日常的な努力をしているか
一、	従業員には安定した生活を、 そして幸福を	④ 次世代の経営者を育成する「てっぺん塾」受講者数	役職員の資質向上に組織的で日常的な努力を継続しているか
一、	会員には良質な資金供給を、 そして公正な配当を	⑤ 外部研修派遣等人事教育訓練関連経費の年間支出額	事業性評価に不可欠なお客さまとの対話機会が充実しているか
一、	より強固な基礎を築くために蓄積を、 そして大きな信用を	⑥ Q C 活動のサークル結成数と活動参加延べ役員数	お客さまの多様な経営課題に対処可能な体制ができていないか
		⑦ 融資担当者と得意先担当者の一人当たり出資会員数	金融仲介機能の実効性を高める業務環境が整備されているか
		⑧ 中小企業診断士等外部専門家の相互連携組織会員数	金融仲介機能の実効性を高める人事の安定化が図れているか
		⑨ 営業店舗・事務機器・職員住宅等の年間設備投資額	重要な簿外資産である役職員の健康を良好に保っているか
		⑩ 全職員の内、継続雇用も含む非正規雇用の構成比	地域社会の様々な活動に参画する私的時間を創出しているか
		⑪ 家族を含む役員員の健康管理関連経費の年間支出額	事業性評価融資の原資たる安定した資金調達ができているか
		⑫ 職員一人当たり平均年間就業時間と有給休暇取得率	日常的事業性評価による迅速な運転資金供給ができているか
		⑬ 定期性預金比率と店頭表示超金利付与の預金受入額	比較的有利で多様な資金調達手段の活用を支援できているか
		⑭ 法人向け当座貸越契約の承認先数と設定限度の総額	過度な担保保証依存が不要な信用リソース負担の余力はあるか
		⑮ 手形貸付の極度扱い稟議承認先数と設定極度の総額	公正な金融仲介機能を維持する実効性あるガバナンス態勢か
		⑯ 公的助成金制度申請手続き支援の採択件数と採択額	
		⑰ 行政機関等による公的融資制度の取扱件数と実行額	
		⑱ 配当負担の無い利益剰余金の額と単体自己資本比率	
		⑲ 選任地区別総代懇談会の総代および選考委員出席数	
		⑳ 役員総数に占める職員外の理事および監事の構成比	

※主たる営業地区とは、稚内市を含む宗谷総合振興局管内、天塩町、遠別町、雄武町です。  
※庫内用資料

金融仲介機能のベンチマーク (直近3期データと自己評価)				(稚内信用金庫：2017.04.20)	
ベンチマーク (評価基準項目)		2014(平成26)年度	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	自己評価 (理事長の見解と課題)
①	職場外の社会活動団体に参画している延べ役員数	1,252名	1,310名	1,357名	300名弱の役員対比400%超を継続、責任を十分に果たしている
②	主たる営業地区における市場占有率(預金)	82%	82%	82%	地域における資金仲介機能(=信用リスク負担+資産形成支援)の責任は十分果たしている水準にあるが、新たな資金需要の創出を促す努力の余地あり
	主たる営業地区における市場占有率(貸出金)	56%	58%	56%	
③	役員総数の内、主たる営業地区内出身者の構成比	67%	67%	64%	地域社会との一体感や特異な地域性をアピールのできる水準にある
④	次世代の経営者を育成する「てっぺん塾」受講者数	194名	187名	121名 (半期集計)	軌道には乗ってきたが、先輩経営者との交流など工夫の余地あり
⑤	外部研修派遣等人事教育訓練関連経費の年間支出額	23百万円	27百万円	25百万円	高い水準を維持しているが、実務への応用力強化に工夫の余地あり
	QC活動のサークル結成数と活動参加延べ役員数	52サークル 414名	70サークル 627名	45サークル 371名	
⑦	融資担当者の一人当たり出資会員数	313会員	314会員	314会員	会員との対話機会確保には十分な体制が整っているが、事業性評価や資産形成支援の課題では、職員個々の力量不足は否定できず、大いなる努力の余地あり
	得意先担当者の一人当たり出資会員数	185会員	185会員	182会員	
⑧	中小企業診断士等外部専門家の相互連携組織会員数	27名 9件	27名 17件	30件	具体的な支援事例が増加しつつあるが、連携会員拡大に余地あり
⑨	営業店舗・事務機器・職員住宅等の年間設備投資額	676百万円	846百万円	522百万円	計画的な設備投資の継続で、業務環境の整備は十分な水準にある
⑩	全職員の内、継続雇用も含む非正規雇用の構成比	11%	10%	13%	定年退職者再雇用で一時的に増加したが、65歳定年制に移行予定
⑪	家族を含む役員・健康関連経費の年間支出額	78百万円	83百万円	79百万円	高い水準だが、検診補助等健康管理費用の支援策拡充に余地あり
	職員一人当たり平均の年間就業時間数	1882時間	1791時間	1853時間	
⑫	職員一人当たり平均の有給休暇取得率	55%	87%	71%	平成27年度の全店QC活動(共通テーマ：時間管理)展開の成果として達した水準からの反動減だが、恒常的な業務改革の継続による高水準維持と、適正な所定就業時間の見直しに余地あり
	定期性預金比率(期中平均)	73%	73%	73%	
⑬	店頭表示超金利付与の預金受入額(先数と期末残高)	18先 30億円	15先 29億円	9先 28億円	流動性リスクの高い金利選好型の預金受入は十分抑制されている
	法人向け当座貸越契約の承認先数と設定限度の総額	30先 23億円	34先 44億円	44先 72億円	
⑮	手形貸付の極度扱い、稟議承認先数と設定極度の総額	28先 68億円	28先 82億円	19先 34億円	本部と営業店の連携による迅速な運転資金供給態勢は整っているが、営業店の担当者による日常的な事業性評価の力量向上には、大いなる努力の余地あり
	公的助成金制度申請手続き支援の採択件数と採択額	13件 145百万円	9件 168百万円	18件 86百万円	
⑰	行政機関等による公的融資制度の取扱件数と実行額	577件 57億円	520件 51億円	471件 45億円	取扱実績はそれなりの成果を示しているが、お客さまへの各種制度に係る情報提供や関係各公的機関との連携体制強化には、さらなる努力の余地あり
	配当負担の無い利益剰余金の額	473億円	484億円	491億円	
⑱	単体自己資本比率	63.99%	63.01%	57.32% (暫定値)	担保保証に依存することなく地域経済の信用リスクを十分に負担しうる高水準を保っているが、今後の収益力維持にさらなる努力の余地あり
	選任地区別総代懇談会の総代および選考委員出席数	13名	16名	104名	
⑳	役員総数に占める職員外の理事および監事の構成比	27% (4名/15名)	27% (4名/15名)	33% (5名/15名)	各地開催の総代懇談会や常勤役員の総代訪問機会拡充に余地あり ガバナンスの実効性が十分機能し得る経営体制が整備されている

※主たる営業地区とは、稚内市を含む宗谷総合振興局管内、天塩町、遠別町、雄武町です。  
※庫内用資料